

動物用医療機器
一般医療機器

類別：機械器具34 医療用刀
一般的名称：医療用刀
骨採取用トレパン

【禁忌・禁止】

＜使用方法＞

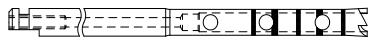
- (1) 本品のコントラ取付けは、本品を確実に奥まで挿入し、固定されていることを確認すること。[器具の破損や脱落につながるおそれがある。]
- (2) 本品の加工・改造は行わないこと。[器具の破損や不適切な設置による術後成績不良が発生するおそれがある。]
- (3) 変形や破損した場合は使用しないこと。[器具の破損や不適切な設置による術後成績不良が発生するおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

原材料：ステンレス鋼

形状：

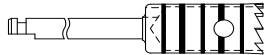
- * (1) 内部注水タイプ



(寸法単位:mm)

形 式	内径	外径
900-0024	φ1.6	φ2.4
900-0027	φ1.9	φ2.7
900-0030	φ2.2	φ3.0
900-0033	φ2.5	φ3.3
900-0038	φ3.0	φ3.8
900-0043	φ3.5	φ4.3
900-0050	φ4.2	φ5.0
900-0060	φ5.2	φ6.0

- * (2) 外部注水タイプ



(寸法単位:mm)

形 式	内径	外形
900-3050	φ5.0	φ5.8
900-3060	φ6.0	φ6.8
900-3080	φ8.0	φ8.8
900-3100	φ10.0	φ10.8
900-3120	φ12.0	φ12.8

【使用目的又は効果】

「使用目的」

本品は、動物用外科手術に際し、能動型電気エンジンに接続して用いる器具である。本品は再使用可能である。

「効果」

外科的治療時に骨の採取及び除去をすることができる。

【使用方法等】

本品を外科用ハンドピースに装着し使用する。外部より（内部注水タイプは内部・外部両方より）十分に生理食塩水をかけて、本品を冷却しながら使用する。回転数は1000rpm（φ3.0以下）、600rpm（φ3.3～5.0）、300rpm以下（φ6.0以上）を目安とすること。

【使用上の注意】

- (1) 本品は、獣医医療有資格者以外は使用しないこと。
- (2) 製品の仕様は改良のため、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本品は刃物であるため、取り扱いには充分注意すること。
- (4) 使用後は感染予防のため、ただちに滅菌消毒を行なうこと。

〔使用方法に関連する使用上の注意〕

- (1) 購入時は未滅菌のため、使用前に必ず洗浄・滅菌を行ない、次回からの使用時にも同様に行なうこと。

- (2) 使用するまで常に滅菌後の汚染に注意し、手指や未滅菌の器具などで直接触れないこと。
- (3) 本品は使用前にハンドピースに装着し、外部にて回転させ、注水量、芯ブレなどに支障のないことを確認すること。使用に適さない場合には、新しいものと交換すること。
- (4) 誤ったサイズでの使用は医療事故につながる危険性があるため、本品を使用する前に必ずサイズを確認すること。
- (5) 本品は使用の際、発熱、外科的損傷など組織への侵襲を最小限にするため、十分な生理食塩水の注水下で適正回転数にて使用すること。
- (6) 錆や変色のおそれがあるため、長時間、生理食塩水に浸漬しないこと。
- (7) 本品を使用中に切削性が低下したり、汚染したおそれのある場合には、すぐに使用を中止し、新しいものと交換すること。

【保管方法及び有効期間等】

- (1) 錆びる恐れがあるため水分・血液などが付着したまま保管しないこと。
- (2) 本品は汚染及び錆を防ぐ為、湿度が低く、清潔な場所に保管すること。

【保守・点検に係る事項】

- (1) 消毒用薬液、洗浄剤の濃度・浸漬時間・温度など使用方法は、各メーカーの指示に従い正しく使用すること。消毒用薬液としては次のものを推奨する。
グルタール製剤（ハイドリッドなど）、グルコン酸クロルヘキシジン（ヒピテンなど）、界面活性剤系薬液（塩化ベンゼトニウム液、塩化ベンザルコニウム液、両性界面活性剤などを含む薬液）は使用不可だが、これらの薬液を含んでいても、防錆効果を謳っているものは使用可能。但し、一部の防錆効果のある両性界面活性剤に長時間又は高温下で浸漬した場合、変色を起こすおそれがあるので注意すること。
- (2) 次の成分を含む消毒用薬液は、錆への影響が高いので使用しないこと。
塩素系薬液（次亜塩素酸ナトリウムなど）、過酸化系薬液（オキシドールなど）、強酸性水、及び防錆効果のない界面活性剤系薬液（塩化ベンゼトニウム液、塩化ベンザルコニウム液、両性界面活性剤など。）
- (3) 乾熱滅菌は、高温になり劣化の原因になるので使用しないこと。
- (4) オートクレーブ滅菌の場合、機種・条件によっては滅菌バッグが湿った状態で乾燥工程が終了することがあり、その際、滅菌バッグと本品とが直接接していると錆が発生する原因となるので、滅菌ケース、必要に応じてバースタンドなどを用いて本品と滅菌バッグとが直接接触しないようにして滅菌すること。
- (5) 錆びた本品は、汚染を引き起こす可能性があるため、錆びていない製品と一緒に滅菌しないこと。
- (6) 滅菌後は錆がないか点検し、錆が認められた場合には、新しいものと交換すること。
- (7) 錆びるおそれがあるため次のことについて留意すること。
 - ・血液・骨が凝固付着したまま乾燥させないこと。
 - ・最終洗浄は精製水を使用すること。
 - ・湿度が高くて自然乾燥に時間を要する場合には、ドライヤーなどで強制的に乾燥させること。
 - ・汚れ、水分、洗浄剤などが付着したまま滅菌しないこと。
 - ・オートクレーブ滅菌の場合、精製水を用い、水道水は使用しないこと。
- (8) 本製品の使用後は、すぐに消毒用薬液（上記（1）、（2）参照）又は消毒効果のある洗浄剤に浸漬し、その後、超音波洗浄機、ブラシなどを用いて洗浄し、内部注水、刃部などの付着物を完全に除去すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者
株式会社デンテック
〒174-0053 東京都板橋区清水町5-3-5
TEL：03-3964-2011
FAX：03-3962-5624

使用前には必ず本書及び取扱説明書を読み、注意事項を守って使用すること。

2. 販売業者

有限会社 テクニカ

〒174-0053 東京都板橋区清水町5-3-5

TEL : 03-5375-0605

FAX : 03-3962-5624